



第42回古牧地区防火・防犯・交通安全ポスター表彰式

9月3日(日)古牧公民館において第42回古牧地区防火・防犯・交通安全ポスター審査会にて選ばれた入賞者18作品への表彰式が4年振りに行われました。

来賓の皆様のご紹介と挨拶に続いて、入賞者には各カテゴリー別に「防火の部」は消防分団長賞・消防団長賞・消防局長賞、「防犯の部」は防犯協会長賞・和田交番所長賞、「交通安全の部」は交通安全協会長賞がそれぞれ授与されました。今回は受賞者全員にインタビューし近況やポスター作成への取り組み等を伺うことができ、来年も頑張っって応募したいとのことでした。

講評のなかで、長野中央警察署和田交番の加部登志彦所長からは子どもたちは、「日頃から防火について火災は悲しいことであり火に気をつけたい。」「交通事故にあわないように交通安全に気をつけたい。」「防犯ではオレオレ詐欺にあわないように気をつけてほしい」等普段からの高い意識が感じら

れる作品ばかりで、その中でも願いが強い表現作品が入賞に選ばれたとのお話がありました。

最後に渡辺吉昭安全部会長より交通安全ポスターの入賞者作品をセブンイレブン長野西和田店様にご協力をいただき10月1日から1ヶ月間展示することになりましたので、ご覧いただければとのご紹介がありました。

楽しい雰囲気での表彰式も受賞者全員で記念撮影を行い無事に終了しました。(防犯部)

ポスターは3・4面に掲載



~4年ぶりに響く歓声!!~ 古牧地区公民館交流球技大会

古牧地区公民館交流球技大会が8月20日(日)に開催されました。今回は感染症や熱中症対策等を踏まえて、これまでのような地区対抗戦ではなく交流球技大会という形で行われ、野球と卓球の2種目での開催となりました。バレーボールは各地区のチーム事情により中止となりました。

野球は犀川河川敷第2グラウンドで11チームが参加し、4つのグループに分かれて2試合ずつ試合を行いました。各チームとも久しぶりの大会ではありましたがファインプレーあり、ホームランありと白熱した試合展開となりました。応援の人たちの声援を受けて炎

次頁につづく

前頁のつづき

天下の中で最後まで全力プレーで戦っていました。

卓球は市営古牧社会体育館で4チームが参加し、こちら各チーム2試合ずつ試合を行いました。試合前から真剣に練習する姿があり野球同様に久しぶりの大会を心待ちにしていた様子が伺えました。男女シングルスと男女混合ダブルスの合計5ゲームで勝敗を競いました。こちら白熱した試合が続き、体育館の中は熱気と歓声にあふれていました。

試合を終えて参加した選手からは「来年は

優勝カップを争う大会ができることを期待しています！」といった感想も寄せられました。

猛暑の中、熱い戦いを繰り広げてくださった選手の皆さん、また大会を盛り上げてくださった関係者の皆さん本当におつかれさまでした！

来年度以降は熱中症等の対策を考え開催時期の変更、参加チームの減少を受けて競技種目など大会の内容を検討して、より多くの方が楽しく安心して参加できる球技大会を計画していきたいと考えています。

(公民館部)



野球



卓球



楽しかった! 少年少女スポーツ交流会

9月3日(日)、第51回少年少女スポーツ交流会が古牧小学校で開催され、「野球大会」と「わくわくスポーツ教室」を楽しみました。

グラウンドで行われた「野球大会」では3チームがリーグ戦で対決しました。真夏を思わせるような青空の下、グラウンドには元気な声が響き渡り精一杯白球を追いかける姿が印象的でした。

優勝	古牧キッズ
2位	緑ヶ丘少年野球部
3位	南部上高田少年野球

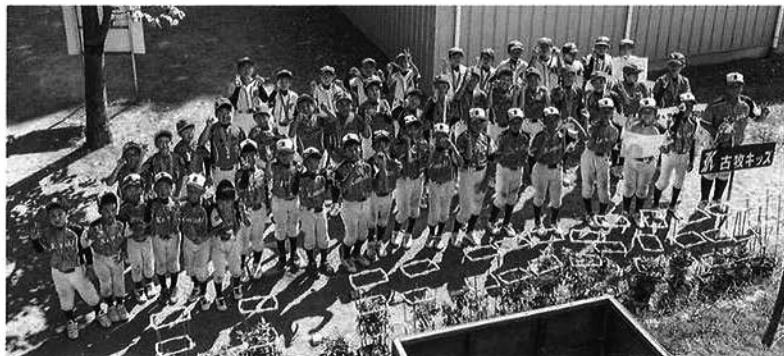
体育館では「わくわくスポーツ教室」が開かれ、62名の子どもたちが参加しました。特別講師にNPIC長野体育指導センターの宮尾周平先生をお迎えし、バトンを使ったリレーや運動

5面につづく

2面のつづき

を交えた様々なゲーム、大玉送りなどを楽しみました。参加者は終始笑顔が絶えず「本当に楽

しかった!」との声があり、とても好評でした。学校、学年に関係なく、スポーツを通して子ども達が楽しめた教室でした。(青少年育成部)



野球大会



わくわくスポーツ教室

古牧地区防火・防犯・交通安全ポスター審査会を開催

8月19日(土)古牧公民館において「第42回古牧地区防火・防犯・交通安全ポスター審査会」が行われました。

古牧12地区の全作品、小・中学生合わせて333点の応募がありました。

作品はどれもすばらしい力作であり、子ども達の作品への意気込みと真剣さが強く伝わるものであり、この中から審査の結果優秀作品18点が選ばれました。

審査方法は、昨年度同様に作品の展示方法や投票の方法などを工夫し、同じカテゴリーの作品をまとめて展示し、各地区より5名の審査員を事前に選んでいただき指定の時間内に審査を済ませ会場も密にならずに開催することができました。

なお、防火の部は今年度より新たに長野市消防局主催の第34回防火ポスターコンクール

の審査会に応募全作品を提出することになりました。

今回のポスター事業にご協力いただきました各地区の小・中学校の育成会・PTA並びに保護者の皆様と共催をいただきました消防団長野第六分団の皆様にお礼申し上げます。

(防犯部)



審査風景

渡邊山蓮證寺の生い立ちと現在

古牧郷土史研究会 岡宮 裕

慶応3(1867)年大政奉還が行われた以降、神仏分離令・大教宣布の詔によって一時「だいきょうせん ぶ みがこのり廃仏毀釈」の嵐が吹き荒れた中、明治3(1870)年神仏分離政策と合わせて仏教保護にも国として「力」を入れ始めました。

蓮證寺は明治12(1879)年、西尾張部から南長池に移転しました。光蓮寺の寺内であった蓮證寺の移転は仏教寺院のない南長池からの要請によるものでした。以来、南長



観音堂

池の「村寺」として区民の仏事にかかわってまいりました。宗派は光蓮寺と同じ真宗大谷派(東本願寺)です。今から144年前の出来事です。

昭和27(1952)年、70年ほど前には仏教園として古牧東部保育園を立ち上げ、今日まで多くの地域の子どもたちが巣立っています。寺の東側道路には観音堂があり、道行く人々の安全を守っています。



蓮證寺と古牧東部保育園

娑婆鉛筆

健康長寿が

息子3人も独立して家族を持ち、孫達の成長を楽しみに、健康長寿を夫婦の目標として暮らしていたのですが、2年前の9月10日、女房が異常を訴え病院へ。検査の結果、脳こうそくの診断で、即入院、治療一カ月、リハビリ四カ月の入院となりました。

退院時には要介護3の認定となり、主婦の仕事

は夫である私が担当となりました。いかに主婦の仕事が大変かやってみてわかりました。明日は、今日より少しでも良くなればと思って介護生活を送っています。

皆様も、健康には十分気を付けて、健康長寿を目指して下さい。(竜野 茂利)

10月から11月までの主な行事実施日のお知らせは回覧等でお知らせします。



古牧地区の世帯数と人口

令和5年9月1日現在

11,832世帯

26,273人

(男 13,035人

女 13,238人)

- 発行所 古牧地区住民自治協議会
(電話 259-8359・FAX219-1057)
(E-mail:komaki@vivid.ocn.ne.jp)
- 発行者 田中 邦夫
- 編集 ぶらネットこまき編集委員会
- 印刷 SR



HP
ご覧ください